

複数ルート案の比較評価について
まちづくりへのインパクト

平成28年10月28日
沖縄県

もくじ

1. 評価について	1
2. 鉄軌道導入による効果が期待される まちづくりの主なテーマの抽出	2
3. まちづくりへの寄与の定性的評価	3
3-1 観光まちづくりへの寄与	
3-2 駐留軍用地跡地の活性化	
3-3 コンパクトなまちづくり支援	
4. 総括	20

1. 評価について

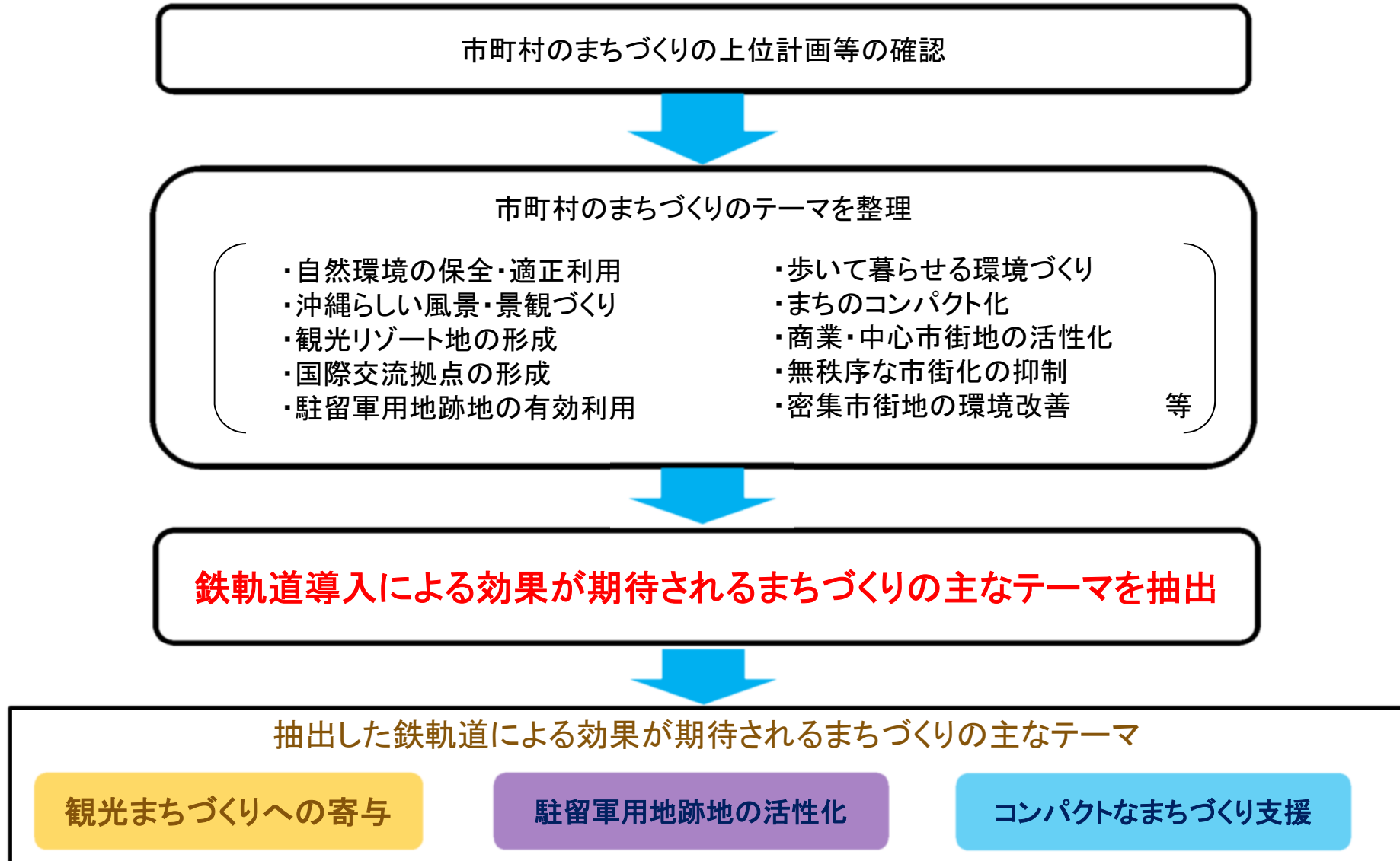
評価の視点	評価項目	評価指標	指標の算出方法及び定性的評価方法
・まちづくり (駐留軍用地 跡地の活性化 含む)	まちづくりへの インパクト	・まちづくりへの寄与の定 性的評価	・鉄軌道導入の効果として、市町村のまちづくりへの寄与の定性的な評 価を行う(観光まちづくりへの寄与、駐留軍用地の活性化等を含む)。

●具体的な評価方法

- ・市町村のまちづくりの上位計画等を確認し、各地域のまちづくりのテーマから、鉄軌道導入によるまちづくりへの寄与が期待される主なテーマを抽出し、その可能性を確認。

※なお、今回は、構想段階の概略計画における評価であり、具体的なルートや駅位置が設定されていないことから各ルート案ごとの比較評価は行わない。

2. 鉄軌道導入による効果が期待されるまちづくりの主なテーマの抽出



3 まちづくりへの寄与の定性的評価

3-1 観光まちづくりへの寄与

3-1-1 各市町村の観光まちづくりの取組

- 沖縄観光は、北部・中部・南部の地域それぞれに特色があり、各市町村において、観光地の魅力向上を図るため、自然・歴史・文化など地域資源を生かした観光まちづくりの取組が行われている。

<観光振興に関する圏域別の基本方向> 沖縄県観光振興基本計画(第5次)(平成24年5月)

【北部圏域】

- 多様で個性豊かな自然環境を活用したエコツーリズム、民泊など体験・参加型観光の取組
- 金武湾の特性や自然、文化を活かした健康保養をテーマとした滞在型観光や海洋レジャーなどの取組
- 国営沖縄記念公園海洋博覧会地区の拠点機能の充実に向けた新たな観光ルートの形成
- ブセナ地区や恩納村海岸線に代表される西海岸地域、カヌチャ地域等のリゾート施設と万国津梁館の活用
- 沖縄科学技術大学院大学をはじめ県内外の研究教育機関等と連携した学術会議などMICEを推進
- 北部圏域内の歴史・文化遺産等を生かした他圏域との広域的な連携による多様な周遊ルート開発
- 沖縄を代表する観光リゾート地としての沿道景観整備やまちなみ景観など地域にふさわしい個性豊かな風景づくり
- 国際交流の拠点として本部港における大型クルーズ船の接岸を可能とする岸壁の整備

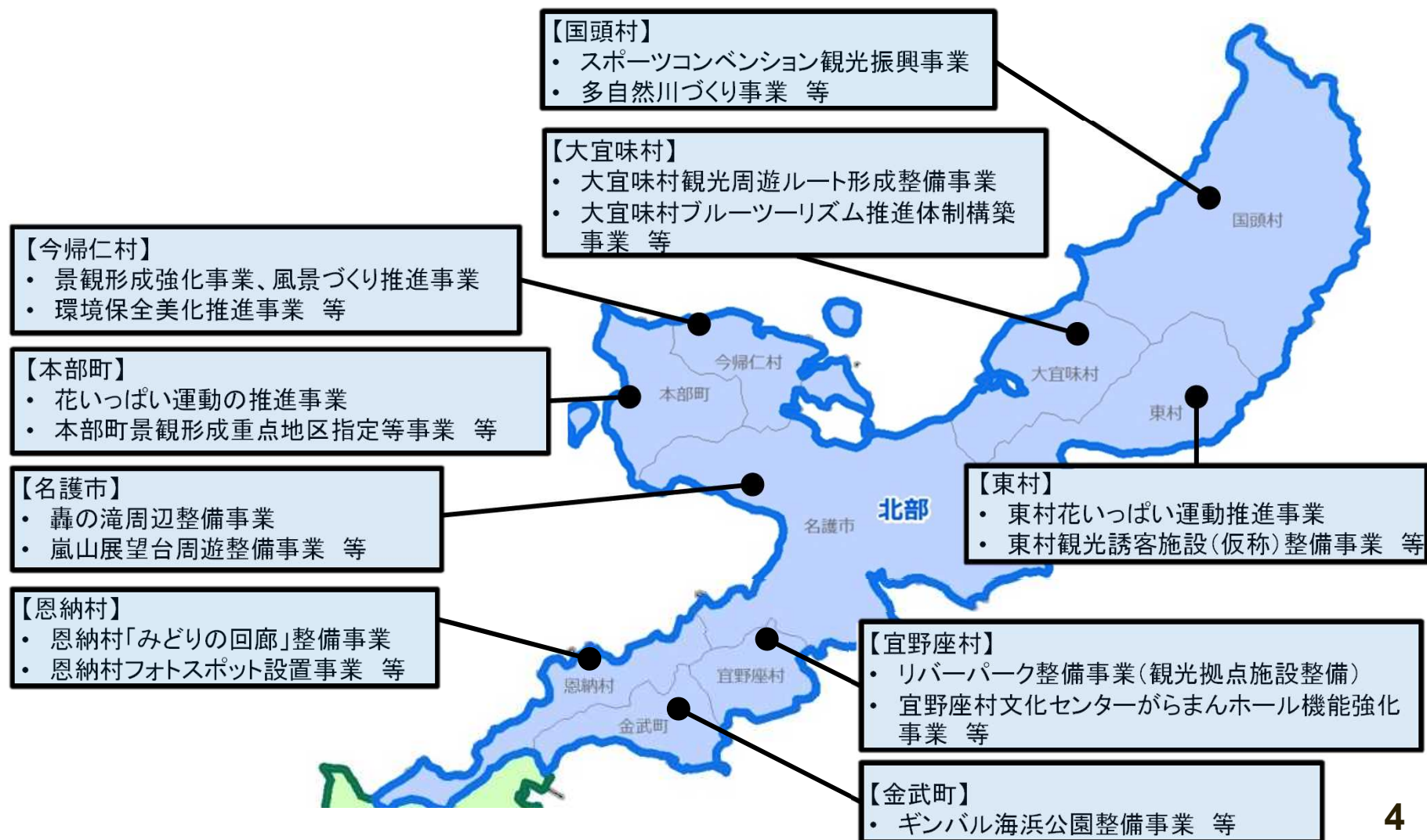
【中部圏域】

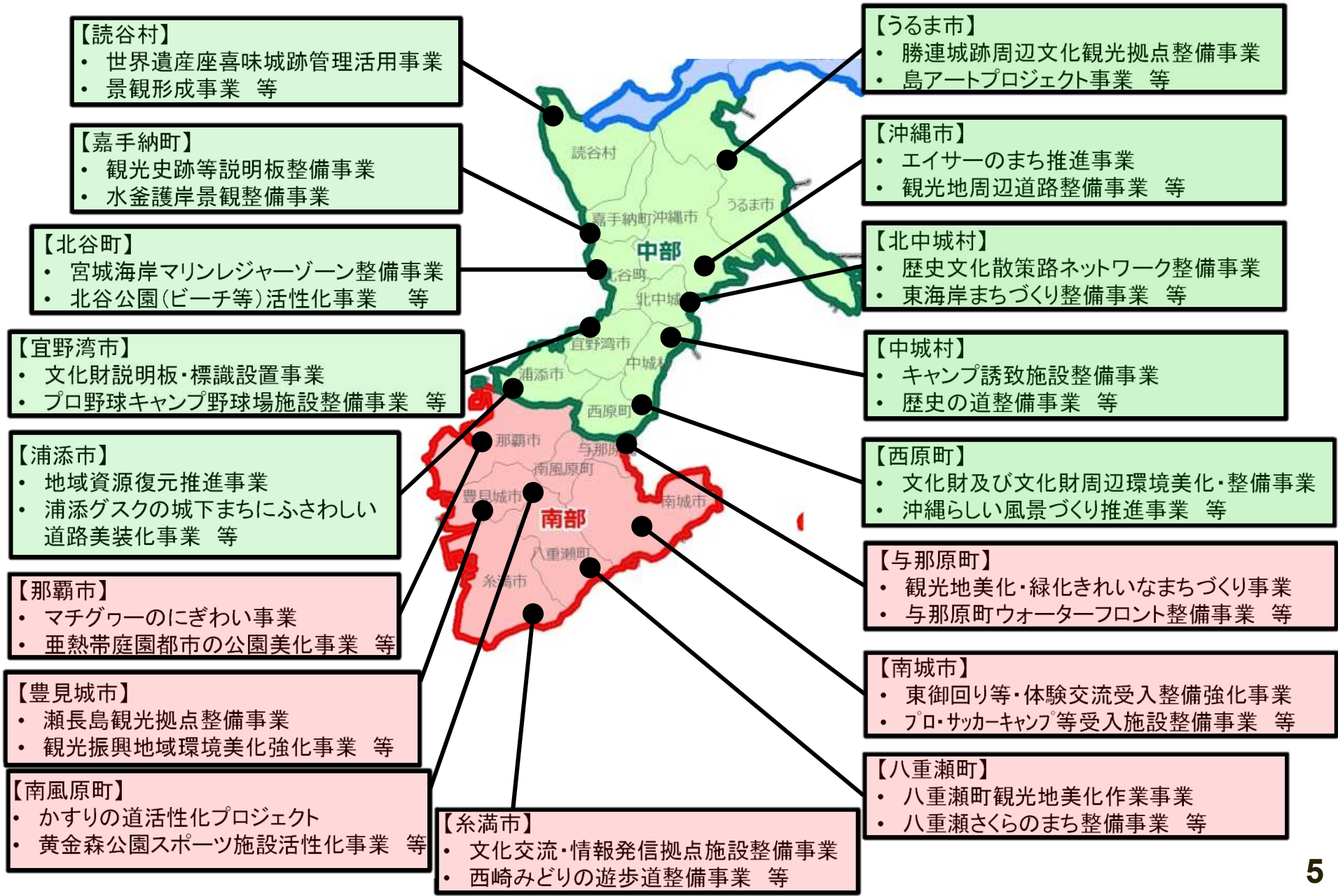
- 国際色豊かな独特のチャンプルー文化が根付いた沖縄市を中心として、音楽・芸能を活用した観光・レクリエーション拠点の形成を促進。
- 宜野湾市から読谷村に至る西海岸地域においては、リゾートホテルや飲食・ショッピング、コンベンション、マリナー、レクリエーション等施設の集積を生かし、国際色豊かな観光・コンベンションリゾートとしてのまちづくりを促進
- 東海岸地域では、中城湾港泡瀬地区において環境保全に十分配慮し、東部海浜開発を推進し、海洋レクリエーション機能を有した東部海浜開発事業の導入を推進
- スポーツコンベンション拠点の形成
- 環金湾地域においては、金武湾の特性を生かした海洋レジャーなどの取組を促進

【南部圏域】

- リゾート及び都市型ホテルや飲食・ショッピング、コンベンション、マリナー・人工ビーチ、レクリエーション等施設の集積を活かしつつ、アジアをはじめとする諸外国や県内外との交流拠点の形成を目指し、施設の充実及び受入体制の強化を促進
- 本島東南部の与那原町から南城市、八重瀬町に至る地域では、海洋性レクリエーション施設等を活用した新たな観光リゾート空間の形成を促進するほか、琉球王国のグスク及び関連遺産群や自然及び文化を活かした体験・滞在型観光等、地域産業と密接に連携した新たな観光スタイルの創出を図るとともに、南部各地で開催されるスポーツ大会、各種イベント等の充実

【参考】 現在、各市町村で実施されている取組



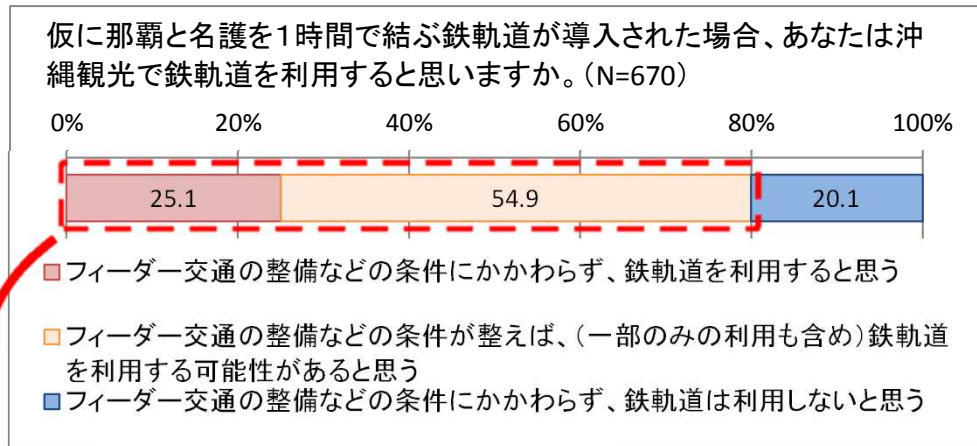


3-1 観光まちづくりへの寄与

3-1-1 鉄軌道導入による周遊観光拡大の可能性②（鉄軌道利用意向と行き先変化）

- 過去2年間に沖縄旅行の経験がある観光客は、那覇と名護を1時間で結ぶ鉄軌道が整備された場合、利用したいとの意向が8割程度と比較的多い。
- 利用意向を示した観光客のうち約6割が、鉄軌道を利用することで、より多くの観光地を訪問すると思う(周遊すると思う)と回答。

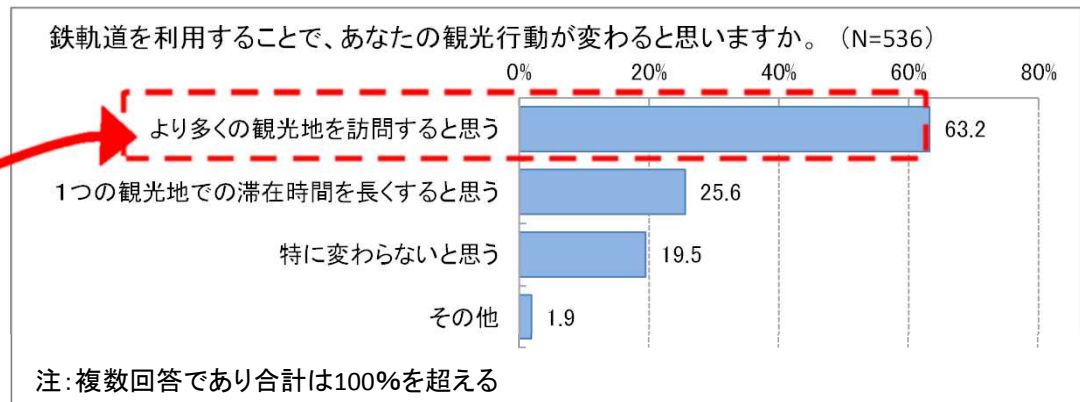
【県外観光客の鉄軌道の利用意向】



利用意向のある観光客のうち、約6割が、鉄軌道を利用することで、より多くの観光地を訪問すると思うと回答

観光客のうち、約8割程度が鉄軌道が導入された場合利用したいとの意向

【観光行動の変化について】



3-1 観光まちづくりへの寄与

3-1-2 鉄軌道導入による周遊観光拡大の可能性③（鉄軌道利用で行きたい観光地）

- 観光客アンケートの結果から、鉄軌道が整備された場合、これまでの沖縄の交通の状況では行こうと思わなかった、北部地域や中部地域の観光地へも行くとの意向が示されている。

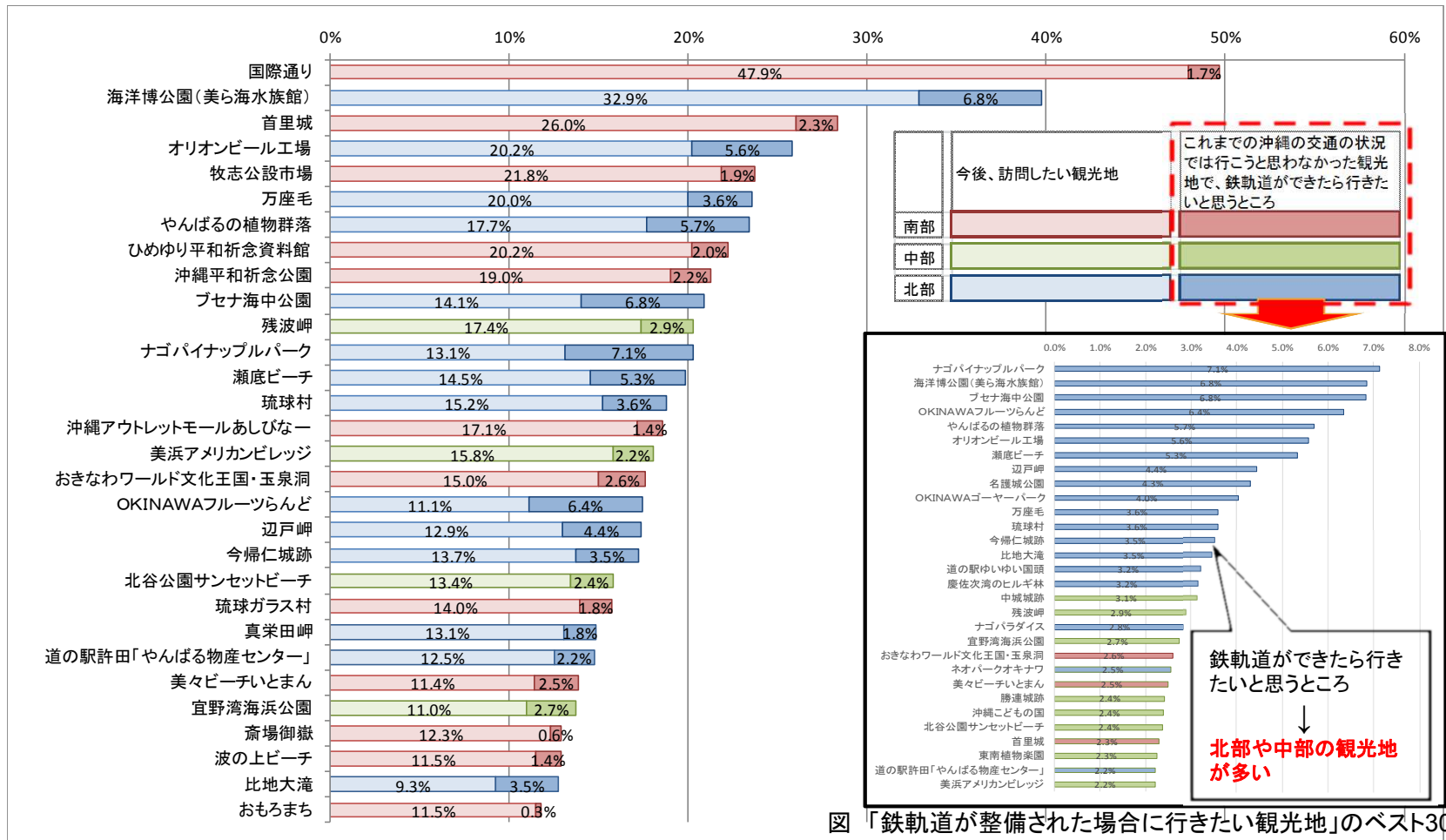


図 「鉄軌道が整備された場合に行きたい観光地」のベスト30

図 「今後訪問希望地」+「鉄軌道が整備された場合に行きたい観光地」のベスト30

参考：北陸新幹線開業にあわせた周遊観光の取組

- 北陸新幹線の開業により、金沢～東京との所要時間が約2/3に短縮。
- 金沢だけでなく周辺の主要観光地でも、入込客数が2～6割程度増加。
- JR西日本では、北陸新幹線の開業にあわせて、周遊観光プランを設定している。



金沢～東京間の所要時間が北陸新幹線の開業により約2/3に短縮



主要観光地入込客数(H27.4～H28.3)

観光地名	入込客数	前年度比
①兼六園	308.9万人	+51.6%
②一乗谷朝倉氏遺跡	107.0万人	+45.0%
③福井県立恐竜博物館	93.1万人	+31.4%
④黒部峡谷	79.9万人	+18.6%
⑤輪島朝市	79.1万人	+21.6%
⑥瑞龍寺	25.6万人	+65.8%

出所)「北陸新幹線の開業効果と課題について」(北陸財務局)(各観光地から収集した値)

- 注)1.各観光地の入込客数は、平成27年度の累計。
2.黒部峡谷の入込客数には、冬季の閉鎖期間は含まれていない。

2015.3.14 北陸エリア観光周遊バス

◆広域周遊観光の促進に向けた二次アクセスの整備
⇒北陸新幹線開業にあわせ、4月から12月まで運行

- 3つ星街道バス
金沢駅～五箇山(こきりこ鑑賞)～白川郷～高山駅
- 富山の世界遺産と国宝めぐりバス
富山駅～五箇山～新高岡駅～瑞龍寺～ひみ番屋街～和倉温泉駅
- 恐竜博物館・奥越前めぐりバス
金沢駅・加賀温泉駅
→越前大野→恐竜博物館
→永平寺→福井駅・あわら湯のまち駅

【観光周遊バスが購入できる旅行商品(例)】

関西発 首都圏発

出典：JR西日本ホームページ

JR西日本は、北陸新幹線の金沢・富山～長野駅間での開業にあわせて、北陸エリアを広域的に周遊できる2次アクセスや着地フリーパスを設定。

JRセットプラン ご利用のお客様限定! バスガイド付 3つ星街道バス <金沢駅⇄高山駅>

昔ばなしに出てきそうな茅葺き屋根の家々が建ちならぶ「合掌造り集落」は、世界文化遺産に登録されて20周年を迎えます。五箇山の村上家では、囲炉裏端で当主による解説と日本最古の民謡「ごきりこ踊り」をお楽しみ下さい。

■運行日/平成27年4月4日～12月23日の土曜・休日
 ■最少催行人員/2名
 ■申込締切/5日前まで
 ■料金/おとな 4,500円 小学生以下 2,250円

※料金には村上家への入館料が含まれます。昼食は含まれておりません。白川郷で自由観光となります。
 ※GWや紅葉時期等は、道路事情により予定通り運行できない場合がありますので予めご了承下さい。

※Aコースのオプションで高山駅から金沢駅へ高山市内自由散策(2時間)後、高山駅(16:30発)→金沢駅(18:30頃着) 料金/おとな 2,000円 小学生以下 1,000円

運行ルート

Aコース 金沢駅(乗取)——五箇山(村上家ごきりこ鑑賞(約20分))——白川郷散策——高山駅 8:30発 9:30～10:30 11:00～13:30 14:30頃着

Bコース 高山駅——白川郷散策——五箇山(村上家ごきりこ鑑賞(約20分))——金沢駅(乗取) 9:00発 10:00～12:30 13:00～14:00 15:00頃着

(バスタイプ・定員)大型バス40名定員

●金沢駅バス乗り場 ●高山駅バス乗り場

旅行企画・実施/西日本ジェイアールバス㈱ 大阪府知事登録旅行業 第2-1345号 大阪府大阪市此花区北港1丁目3-23 <一社>全国旅行業協会正会員
 ※キャンセル料は利用日の前日から起算してさかのぼって4日前～2日前は料金の30%、前日は料金の50%、当日は料金の100%となります。

JRセットプラン ご利用のお客様限定! バスガイド付 富山の世界遺産と国宝めぐりバス <富山駅⇄和倉温泉駅>

富山駅と和倉温泉駅を結ぶバス、世界文化遺産登録20周年を迎える「五箇山合掌造り集落」や高岡の開祖 前田利長の菩提寺「国宝瑞龍寺」をめくります。「ひみ番屋街」では、天気によれば海越しの立山連峰が望めます。

■運行日/・Aコース(富山駅から和倉温泉駅) 平成27年4月4日～12月19日の土曜日及び5月3日～5日、9月20日～22日
 ・Bコース(和倉温泉駅から富山駅) 平成27年4月4日～12月20日の日曜日及び5月4日～6日、9月21日～23日
 ■最少催行人員/2名
 ■申込締切/5日前まで
 ■料金/・富山駅→和倉温泉駅 おとな4,500円 こども2,250円
 ・和倉温泉駅→富山駅 おとな3,500円 こども1,750円

※料金は瑞龍寺の入館料が含まれます。五箇山は含まれておりません。五箇山で自由観光となります。
 ※GWや紅葉時期等は、道路事情により予定通り運行できない場合がありますので予めご了承下さい。

●4/4～12/19の土曜日、及び5/3・4・5、9/20・21・22
 富山駅(北口)——五箇山(静沼)——新高岡駅(南口広場)——瑞龍寺——ひみ番屋街——和倉温泉駅 10:45発 11:45～13:00 14:00着 14:10～15:00 15:40～16:00 17:00頃着

●4/5～12/20の日曜日、及び5/4・5・6、9/21・22・23
 和倉温泉駅——ひみ番屋街——瑞龍寺——新高岡駅(南口広場)——五箇山(静沼)——富山駅(北口) 9:00発 10:10～10:20 11:00～11:50 12:00着 13:00～14:15 15:15頃着

(バスタイプ・定員)大型バス40名定員

●富山駅バス乗り場 ●和倉温泉バス乗り場

旅行企画・実施/西日本ジェイアールバス㈱ 大阪府知事登録旅行業 第2-1345号 大阪府大阪市此花区北港1丁目3-23 <一社>全国旅行業協会正会員
 ※キャンセル料は利用日の前日から起算してさかのぼって4日前～2日前は料金の30%、前日は料金の50%、当日は料金の100%となります。

JRセットプラン ご利用のお客様限定! バスガイド付 恐竜博物館・奥越前めぐりバス <金沢駅⇄加賀温泉駅⇄福井駅⇄あわら湯のまち駅>

恐竜化石の宝庫として全国的に知られている福井県勝山市にある「恐竜博物館」,7体の実物化石を含む40以上の恐竜骨格・1,000点を超える標本ジオラマを間近で見学できます。北陸の小京都「越前大野」では、市内約30店舗のお店のうち5店舗のスイーツや特産品など交換が出来る食べ歩きクーポンで街歩きをお楽しみ下さい。

■運行日/平成27年4月5日～12月23日の日曜・休日
 ■最少催行人員/2名
 ■申込締切/5日前まで
 ■料金/金沢発 おとな5,500円 こども2,750円
 加賀温泉発 おとな5,000円 こども2,500円

※料金には恐竜博物館の入館料と永平寺の拝観料が含まれます。昼食は含まれておりません。越前大野で自由観光となります。
 ※特典「越前おのの食べ歩き券(食べ歩きクーポン)」付き
 ※GWや紅葉時期等は、道路事情により予定通り運行できない場合がありますので予めご了承下さい。

運行ルート 金沢駅(乗取)——加賀温泉駅——越前大野散策——福井県——永平寺——福井駅——あわら湯のまち駅 8:30発 9:30発 11:00～12:30 13:00～14:30 15:00～16:00 16:40頃着 17:20頃着

(バスタイプ・定員)大型バス40名定員(※14名までは、小型バスとなります。)

●金沢駅バス乗り場 ●あわら湯のまち駅

旅行企画・実施/西日本ジェイアールバス㈱ 大阪府知事登録旅行業 第2-1345号 大阪府大阪市此花区北港1丁目3-23 <一社>全国旅行業協会正会員
 ※キャンセル料は利用日の前日から起算してさかのぼって4日前～2日前は料金の30%、前日は料金の50%、当日は料金の100%となります。

- 北陸新幹線で直結する首都圏から東海道新幹線や高山線・中央線などと組み合わせた北陸と新潟・長野・岐阜の広域周遊が可能になるプラン。
- また、関西・北陸から新潟・長野へ北陸新幹線を利用した商品も販売。

3-1 観光まちづくりへの寄与

3-1-4 市町村の観光まちづくりへの寄与（まとめ）

- 各市町村において、観光地の魅力向上を図るため、地域の自然・歴史・文化など地域資源を活用したハード・ソフト両面からの観光まちづくりの取組が進められている。
- 那覇と名護を1時間で結ぶ鉄軌道が導入された場合、利用意向のある県外観光客のうち約6割が、鉄軌道を利用することで、より多くの観光地を訪問したいと回答している。
- 観光客アンケートの結果から、鉄軌道利用により新たに行きたい訪問先については、北部地域や中部地域の観光地が多く選定されており、観光客が広域的に周遊観光を行うことが期待される。



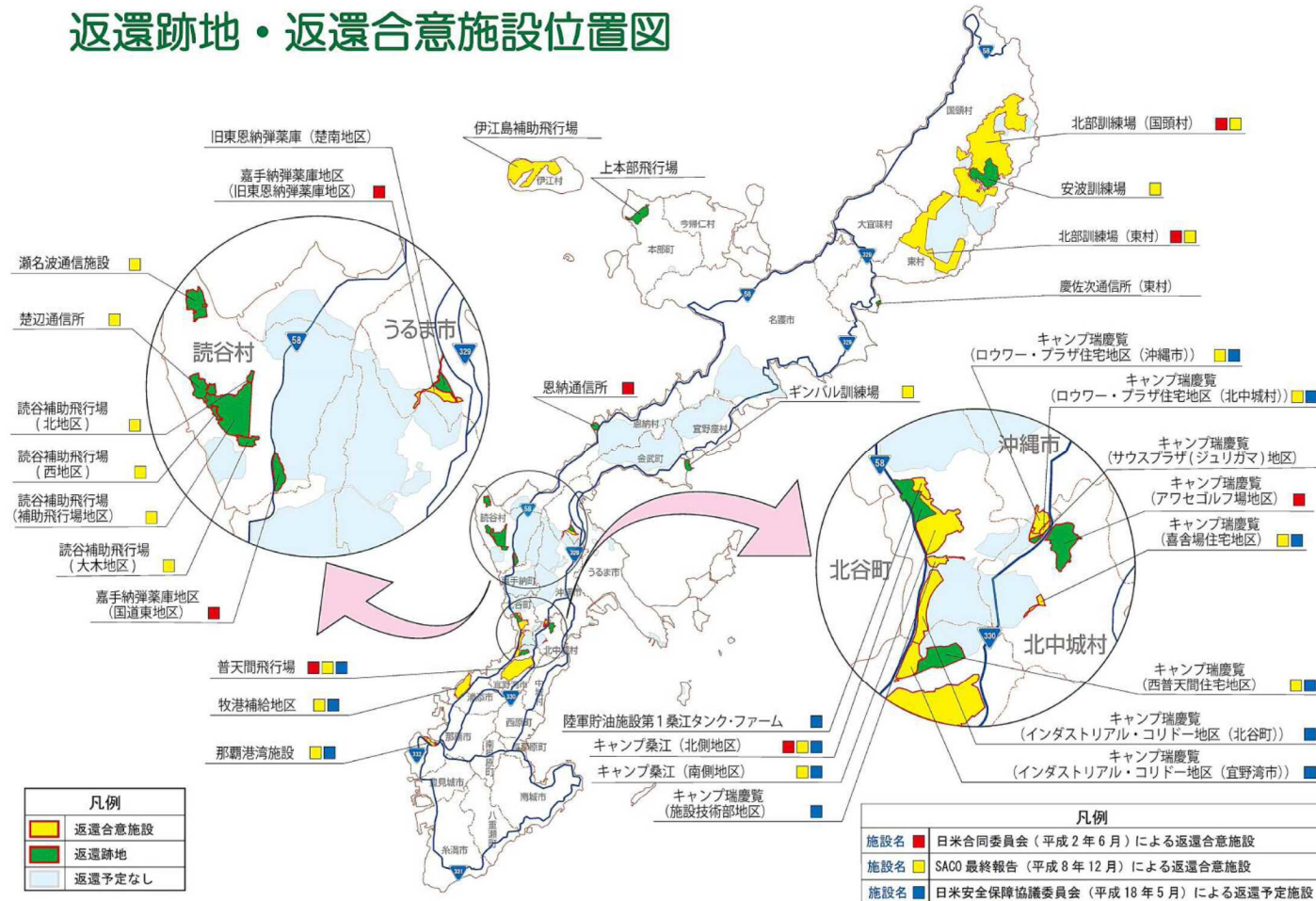
- 鉄軌道の導入や駅から観光地までの2次交通の充実等により、移動時間が短縮され、観光客が南部・中部・北部の観光地を巡る広域的な周遊観光が可能となり、各観光地の魅力向上が図られれば、入込観光客数の増加など観光まちづくりへの寄与が期待される。

3-2 駐留軍用地跡地の活性化

3-2-1 沖縄本島の返還跡地・返還合意施設の位置

- 沖縄本島の北部圏域、中南部圏域では、返還駐留軍用地跡地を活用した新たなまちづくりが課題となっている。
- 特に、嘉手納以南の返還予定跡地には、牧港補給地区や普天間飛行場など大規模な駐留軍用地もあり、県土構造の再編も視野にいれたまちづくり計画の検討が求められている。

返還跡地・返還合意施設位置図



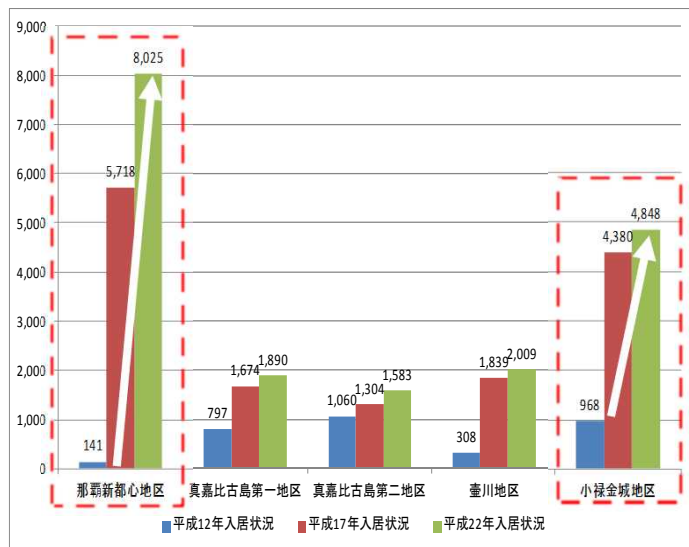
出典：「返還跡地・返還合意施設ガイド」平成26年3月 内閣府沖縄総合事務局総務部跡地利用対策課

3-2 駐留軍用地跡地の活性化

3-2-2 過去の駐留軍用地跡地における新たなまちづくりの経済波及効果の事例

- 沖縄都市モノレール沿線の駐留軍用地跡地の開発地区である那覇新都心地区、小禄金城地区においては、市街地整備等を行っており、開業後(平成15年8月以降)に人口が増加。
- 過去の駐留軍用地跡地の経済波及効果(及び雇用者数)は、那覇新都心地区で、返還前の32倍(93倍)、小禄金城地区で返還前の14倍(29倍)となっている。

○那覇新都心地区、小禄金城地区の人口変化



○那覇新都心地区、小禄金城地区の経済波及効果

	整備による直接経済効果		活動による直接経済効果		参考・雇用者人数		
	返還後	返還前	返還後	倍率	返還前	返還後	倍率
那覇新都心地区 214.0ha	3,060 億円	52 億円/年	1,634 億円/年	32倍	168 人	15,560 人	93倍
小禄金城地区 108.8ha	1,153 億円	34 億円/年	489 億円/年	14倍	159 人	4,636 人	29倍

※整備による直接経済効果⇒

・返還後の施設・基盤整備(投資)による効果(公共・民間含む)・

※活動による直接経済効果⇒

・返還前: 地代、軍雇用者所得、米軍等への財・サービスの提供額、基地周辺整備費等、基地交付金
・返還後: 卸・小売業、飲食業、サービス業、製造業の売上高、不動産(土地、住宅、事務所、店舗)賃貸額

出典: 駐留軍用地跡地利用に伴う経済波及効果等に関する検討調査(概要版) <平成27年1月 沖縄県>



※ゆいレールおもろまち駅(赤丸)周辺の開発状況(大型ショッピングセンターや高層マンションが立地し、賑わいのある街が形成)

3-2 駐留軍用地跡地の活性化

3-2-3 てだこ浦西駅周辺における駅周辺の新たなまちづくり

- 沖縄都市モノレールてだこ浦西駅周辺地区は、ほとんどが未利用地（開発面積18.7ha）。
- 浦添市では、インフラ整備とあわせて通常より先行して進出企業を公募（複数社内定）。
- 各企業等が提案した駅前大型複合商業施設、その他施設の効果により、昼間人口で最大約1.5万人、雇用で約5,000人の創出を見込んでいる。

【図1】沖縄都市モノレール延長区間

空から見たモノレール
(既存+延長区間)



てだこ浦西駅
(終点駅)



市街化調整区域
→市街化区域

- 新規投資等 約600億～700億円
- 昼間人口 最大約1.5万人
- 雇用創出 約5,000人
- ※内定事業社の提案内容からの積算による

イメージ



【予定されている事業等】

- ・土地区画整理事業の導入、交通結節点（駅前広場）整備
- ・パーク＆ライド駐車場（1000台規模）設置
- ・民間企業の駅周辺開発事業への参入（大型複合商業施設、高層マンション、オフィスビル等を予定）

【大型複合商業施設の規模】

	床面積	階層	駐車場台数
商業施設	57,000 m ²	地上4階	1,555台
オフィス	6,900 m ²	地上5階～9階	(47,000m ²)

出典：分散型エネルギーインフラプロジェクト・マスタープラン策定事業 報告書(概要版)
(平成28年3月 浦添市) ※イメージ図除く

3-2 駐留軍用地跡地の活性化

3-2-3 駐留軍用地跡地の活性化（まとめ）

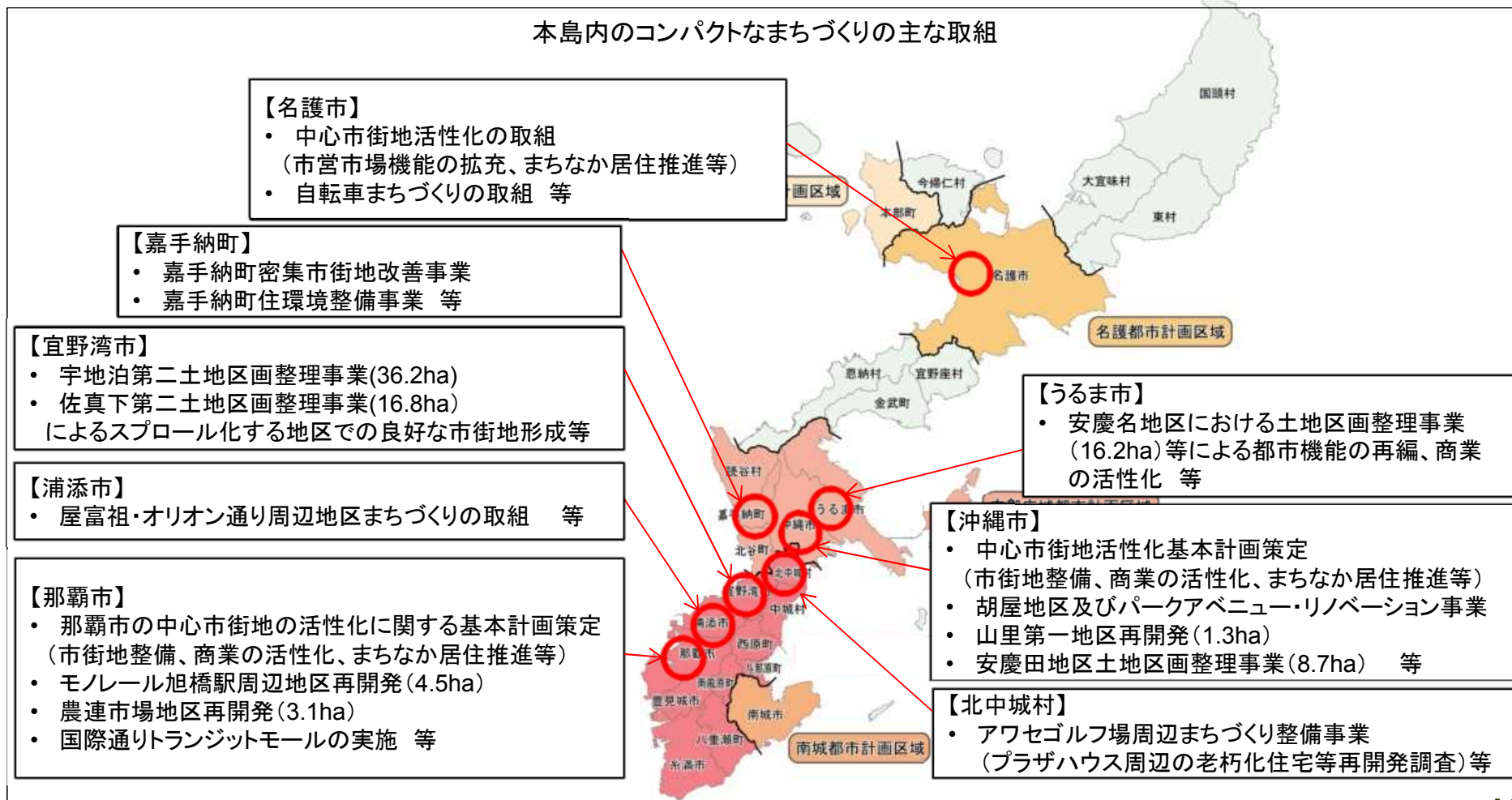
- 那覇新都心地区などの駐留軍用地跡地を活用した新たなまちづくりの事例から、モノレール開業や基盤整備等により、駅周辺地区の人口増加や地区内での雇用者数の増加等が確認された。
- てだこ浦西駅周辺の未利用地における新たなまちづくりの事例から、駅周辺において、企業誘致等に取り組むことにより、新規投資や大規模商業施設の進出が促進される可能性があることが確認された。



- 鉄軌道の導入は、未利用地などにおいて、駅周辺に新たな開発需要等を生じさせる可能性があり、駐留軍用地跡地において、住宅、商業・業務施設等の立地が実現した場合、人口増加や雇用の創出など一定程度の経済効果が見込まれ、駐留軍用地跡地の活性化に寄与することが期待される。

3-3 コンパクトなまちづくり支援

- 中南部圏域の連担して人口・都市機能が集積している那覇市～宜野湾市～沖縄市や、北部圏域の拠点都市である名護市においては、無秩序な市街化の抑制や中心市街地の活性化などの観点から、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりが課題となっている。



3-3 コンパクトなまちづくり支援

3-3-1 日向市(宮崎県)のコンパクトなまちづくりの事例

- JR日向市駅周辺の中心市街地は、定住人口の減少、相次ぐ郊外型大型店舗の進出による核店舗の撤退や都市基盤整備の遅れなどにより活気が失われ、街が衰退。
- このため駅を中心に、平成20年度に完成した鉄道駅高架化の事業や区画整理事業などの基盤整備、商業活性化、街なか居住支援等の取組を一体的に推進。
- 結果、スーパーの開業や駅周辺への分譲マンション等の建設など民間投資が増え、周辺地域が減少する中、中心市街地の居住人口が増加。

○日向市の中心市街地と日向市駅



出典:日向市HP

○日向市駅整備前後の駅前広場



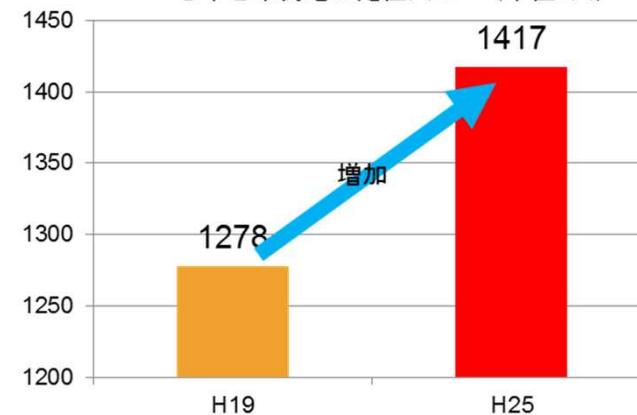
出典:国土交通省HP

○駅周辺の土地区画整理事業等の取組



「公」は連立事業や区画整理による基盤整備を行い、「民」は街区単位で商業施設だけではなく、イベントもできる共同駐車場や民地内に路地空間を整備するなど、公民が協働した街づくりを実現

○中心市街地の定住人口 (単位:人)

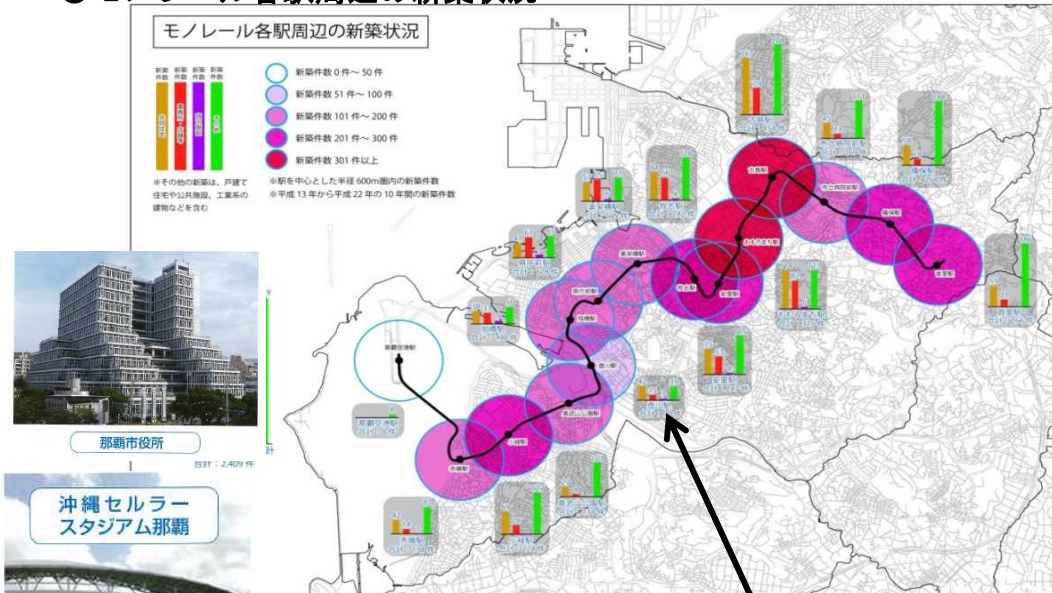


3-3 コンパクトなまちづくり支援

3-3-2 沖縄都市モノレール沿線の新築状況、人口の変化の状況

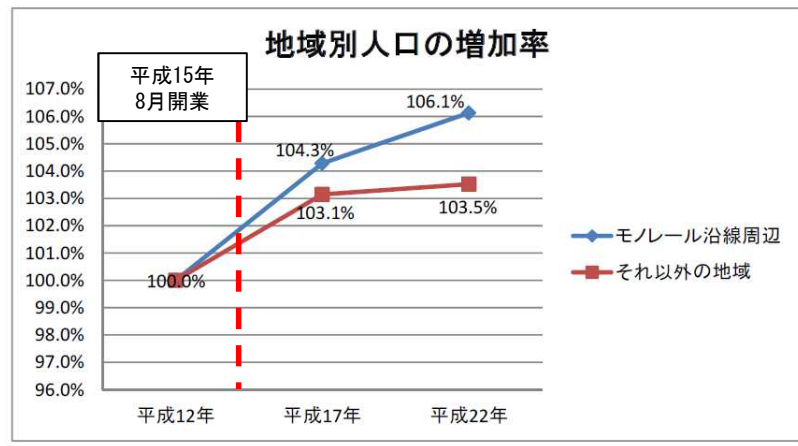
- 那覇市においては、モノレール駅沿線での再開発事業や民間投資等により、平成13年度からの10年間に於いて、那覇市全体の.new築件数のうち約半数がモノレール駅周辺に立地。
- アパートやマンション等の立地や市街地整備事業の実施により、那覇市内のモノレール沿線周辺の人口増加率がモノレール沿線以外の地域の増加率より大きい。

○モノレール各駅周辺の新築状況



那覇市全体のnew築件数4,804件に対し、モノレール駅600m圏内には2,409件（50.1%）のnew築動向

モノレール旭橋駅周辺地区第一種市街地再開発事業



地域別人口の推移 単位：(人)

	平成12年	平成17年	平成22年
モノレール沿線周辺	165,860	172,966	176,024
それ以外の地域	135,172	139,427	139,930

■平成13年～平成22年10年間のnew築状況

	new築件数(件)	面積(ha)
那覇市全体	4,804	3,910
モノレール駅600m圏内	2,409	1,299
全体に対する割合	50.1%	33.2%

※「600m圏内合計」は隣接する駅で600m圏内が重複し、ダブルカウントされた建物を除いているため合計は合わない。

出典：沖縄都市モノレール10年のあゆみ（沖縄都市モノレール株式会社資料）

【参考】 県民アンケートによる沿線地域への居留意向の確認

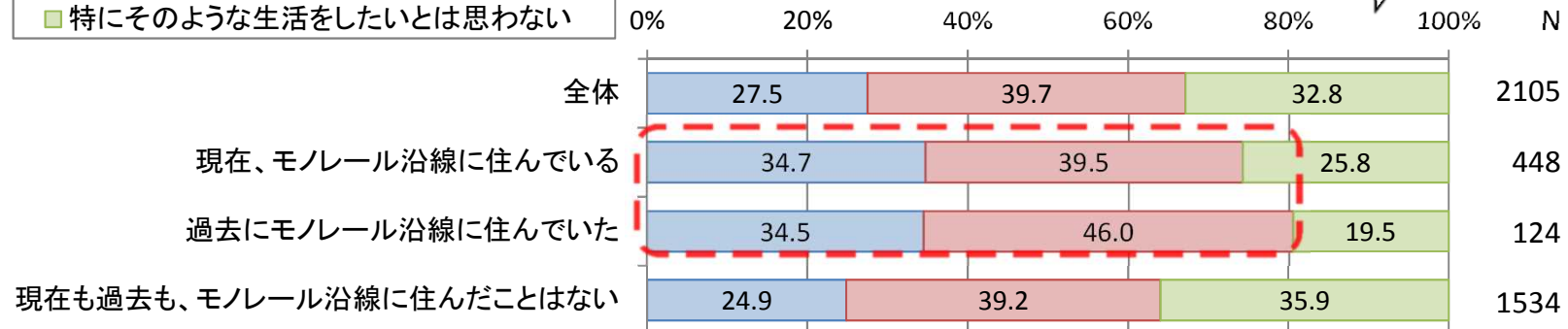
- 県民アンケートによると、65%程度の人が鉄軌道ができた場合に「駅近くに住む生活」をしたいという意向を示している。
- 特に、現在モノレール沿線に住んでいる人、または過去にモノレール沿線に住んでいた人の割合は7割を超えている。



「駅近くに住む生活」をしたいという意向は、モノレール沿線に住んでいる人(住んでいた人)の意向が比較的高い。

駅から自宅までの移動が楽にできる地域に住み、主な場所に鉄軌道と徒歩で移動できるような生活

- できるだけ早くそのような生活してみたい
- いずれはそのような生活してみたい
- 特にそのような生活をしたいとは思わない



3-3 コンパクトなまちづくり支援

3-3-3 コンパクトなまちづくり支援（まとめ）

- 日向市のコンパクトなまちづくり等の事例より、駅周辺の基盤整備、商業活性化、街なか居住支援等の取組を一体的に推進することで、沿線開発やそれにとまなう中心市街地の定住人口増加が確認された。
- 那覇市の事例より、沖縄都市モノレール沿線での再開発事業や民間投資等により、駅周辺への新築建築物の立地集積、沿線地域での人口集積が確認された。
- 県民へのアンケート結果より、65%程度の方が鉄軌道ができた場合に「駅から自宅までの移動が楽にできる地域での生活」をしたいという意向を示していることが確認された。



- 鉄軌道の導入とあわせて、既成市街地などにおいて、駅周辺及び沿線地域の居住環境の改善や土地利用の高度化による公共施設、商業・業務施設など都市機能の集積促進等を行うことで、駅を中心とした市街地の再整備や無秩序な市街化の抑制、中心市街地の活性化など市町村のコンパクトなまちづくりへの寄与が期待される。

4 総括

抽出した鉄軌道による効果が期待されるまちづくりの主なテーマ

観光まちづくりへの寄与

駐留軍用地跡地の活性化

コンパクトなまちづくり支援

- 他地域の事例より、市町村の地域特性を生かした観光地の魅力向上の取組や駅周辺での市街地整備等の取組を行うことで、鉄軌道の導入が、以下のように市町村のまちづくりに寄与する可能性があることが確認された。

【観光まちづくりへの寄与】

- 鉄軌道の導入や駅から観光地までの2次交通の充実等により、移動時間が短縮され、観光客が南部・中部・北部の観光地を巡る広域的な周遊観光が可能となり、各観光地の魅力向上が図られれば、入込観光客数の増加など観光まちづくりへの寄与が期待される。

【駐留軍用地跡地の活性化】

- 鉄軌道の導入は、未利用地などにおいて、駅周辺に新たな開発需要等を生じさせる可能性があり、駐留軍用地跡地において、住宅、商業・業務施設等の立地が実現した場合、人口増加や雇用の創出など一定程度の経済効果が見込まれ、駐留軍用地跡地の活性化に寄与することが期待される。

【コンパクトなまちづくり支援】

- 鉄軌道の導入とあわせて、既成市街地などにおいて、駅周辺及び沿線地域の居住環境の改善や土地利用の高度化による公共施設、商業・業務施設など都市機能の集積促進等を行うことで、駅を中心とした市街地の再整備や無秩序な市街化の抑制、中心市街地の活性化など市町村のコンパクトなまちづくりへの寄与が期待される。

- 鉄軌道の導入によるまちづくりについての詳細な検討は、具体的なルートや駅位置等の検討を行う計画段階において行う。